

令和7年度（荇田高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上	不祥事防止に係る法令順守意識の醸成、向上	・不祥事防止研修会や朝の打合せ、職員会議での校長からの連絡事項、情報提供を通じ、タイミングよく注意事項等、日ごろから事故不祥事防止に係る確認を行うことにより法令順守の意識の醸成を図れた。
職場のハラスメントの防止	セクシャルハラスメント、パワーハラスメントの防止	・不祥事防止研修会を通じ、ハラスメント防止の意識の醸成を図り、職員相互の情報共有や意見交換が行われ、ハラスメントのない職場を保持することができた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ行為等、不適切な指導の防止	・不祥事防止研修会における事案の紹介等の情報提供、生徒とのSNS等の利用の禁止の徹底を図り、未然防止に取り組んだ。
体罰・不適切な指導の防止	体罰・不適切な指導の根絶	・部活動指導を中心に、熱心な指導と体罰や不適切な指導とは異なることの周知・徹底を図り、未然防止に取り組んだ。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜学力検査、進路関係書類、成績関係書類の取扱いにおける事故防止	・入学者選抜業務における作業手順、複数教員での点検、答案等の適切な管理等を徹底した結果、公正な選考を行うことができた。 ・成績や進路関係書類の取扱いについては特化した不祥事防止研修会を実施し内容周知を徹底した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	保護者承諾書、持ち出し手続き等の徹底	・個人情報の持ち出しや学校説明会等に伴う個人情報の収集等について、取扱いの徹底を図り、事故なく業務を実施できた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	各種法規の遵守に努める	・車両等の運転者は常に安全運転に努め、交通法規を遵守した。 ・自転車の交通法規について不祥事防止研修会で取り上げ、内容理解に努めた。
業務執行体制の確保等	業務協力体制と相互チェック体制を構築し、円滑な業務執行体制を整える	・グループリーダーや学年リーダーを中心に報告、連絡、相談体制円滑に行われ、情報や業務の進行が円滑になった。 ・ICTを活用し業務進行の可視化に努めた。
財務事務等の適正執行	県費、私費の迅速で適正な執行と事故の未然防止	・私費会計のルールについて担当職員に徹底し、年間を通じて適切な会計の執行が行われた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

令和7年度はこれまでの不祥事防止の仕組みに加え、ディスカッション等を取り入れる、内容に特化した不祥事防止研修会を実施し、職員の同僚性の向上やより風通しのよい職場づくりを目指したことで事故や不祥事防止につながったと考えている。

令和8年度もさらによい人間関係づくり及び事例検証を踏まえた改善を行うことで、不祥事ゼロに取り組む。